



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 467号

2013.12.5
毎月1回発行

発行責任者
岸田 義典

目次

2013

10月号

- キルギスのバイオガスプロジェクト 2
帯広畜産大学客員教授 西崎邦夫氏
- アグリテクニカ 2013 イノベーション
受賞機発表 Vol.2 8
- 国別輸出入 (2013年8月)..... 10
- WORLD NEWS..... 15
- EVENTS CALENDER..... 16

キルギスのバイオガスプロジェクト

帯広畜産大学客員教授

JICA 草の根プロジェクト (キルギス有機農業普及) プロジェクトマネージャ
西崎邦夫氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 467 回海外農機事情報告会を平成 25 年 10 月 30 日 (水) に開催した。講師は、帯広畜産大学の西崎邦夫氏。西崎氏は、キルギスにて農業関連プロジェクトに参加。その経験をもとに、「キルギスのバイオガスプロジェクト」と題して、映像と共に報告した。

要旨は以下の通りである。

帯広畜産大学の客員教授をしています西崎です。私の研究が農業機械、トラクタだったこともあり、その後エンジン、そしてバイオエネルギーの BDF、バイオエタノール等の研究をしてまいりました。バイオガスプラント研究は、バイオガスからメタンをとり、そこから水素をとって燃料電池をやると聞き、もともとは燃料電池がやりたかったので参画いたしました。

キルギスの概要

キルギス (図 1) は、国民一人当たりの GDP が 1,000 ドルをちょっと超えたくらいで、世界で 150 番目ぐらいの非常に貧しい国です。国民は、外見は日本人とほとんど変わりません。公用語はロシア語とキルギス語。面積は 19 万 8,000 km² で日本の 2 倍くらいあります。中央アジアの“へそ”と言われ、中国、カザフスタン、ウズベキスタンなどと接し、それらの隣国やロシア、トルコ等が消費の拡大を予測して投資をし始めています。

世界経済の面から、経済的には少しずつよくなっていくのでは、と予測されています。人口は約 550 万人で北海道の人口とほぼ同じです。日本から向かう場合は 8 時間ほどかけてモスクワへ行き、それから 5 時間ほど戻るといった感じです。日本との時差は約 3 時間です。周辺は天山山脈に囲まれ、ほとんどが 1,500m 級の高地です。首都は、ビシュケク。東部に有名なイシクル湖があります。潜水艦の実験を行っていたという大きな湖です。その周りが観光地になっていて、裕福な人の別荘地などもあります。日本人が観光等で行くのもその辺りです。

JICA がプロジェクトの対象にしているのは、国

の北側です。3,000 ~ 4,000 m 級の峠もあり、2,800 m ほどの高地でも畜産業などが行われています。イシクル湖の東側のカラコルからその下周辺が畑作地帯です。小麦やビート、牧草を作っています。ビシュケクの西側タラス周辺では野菜栽培が盛んです。南側は日本人が事故に巻き込まれたこともあり、あまり行くことのできない危険地帯となっています。

バイオガスプロジェクト

はじめに

今回のプロジェクトでなぜバイオガスの普及を考えたかという、農業に一番重要な肥料がこの国に全くないためです。国内生産していないので、中国やウズベキスタンから買いますが、その費用もない、という状況です。肥料の高騰もあり、高くて買えないのです。エネルギーは、電気の 90% 以上を水力発電で賄っています。もちろん、石油を含め資源はありません。もともとは遊牧民族です。

図 1 キルギス

